

2016年8月10日

各 位

会 社 名 朝 日 イ ン テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 田 昌 彦
(東 証 第 二 部 ・ 名 証 第 二 部 コード番号 : 7747)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 伊 藤 瑞 穂
(TEL. 052-768-1211)

内視鏡ガイドワイヤー「M-Through™」※（エムスルー）の発売開始について

このたび、当社は、株式会社メディコスヒラタとの業務提携により、胆管・膵管・消化管分野の内視鏡処置に使用する内視鏡ガイドワイヤー「M-Through™」※（エムスルー）を開発いたしました。当製品は、当社グループが製造し、2016年8月より、日本国内において株式会社メディコスヒラタが発売いたします。株式会社メディコスヒラタは、創業98年の歴史があり、胆管・膵管・消化管分野などの内視鏡処置領域や、脳（経皮的脳血栓回収術等）・大動脈（ステントグラフト内挿術）・末梢などの血管内治療製品を強みとし、開発・製造・販売を行っている医療機器会社です。

記

1. 背景

胆石や膵石の除去、悪性腫瘍による胆管狭窄に対する治療は、治療技術や医療機器の進歩により、従来の外科手術に代わり、身体への負担が少ない内視鏡的手術における適応が、グローバル規模で拡大傾向にあります。胆管・膵管治療の内視鏡処置は、国内において、2015年に18万症例（治療・検査）があり、当治療方法が一般的にも普及しております。

胆管や膵管に医療処置具を誘導するためには、十二指腸まで進めた内視鏡の先端から内視鏡ガイドワイヤーを用いて誘導を行いますが、胆管や膵管は細く枝分かれしていることに加え、腫瘍や結石による狭窄・閉塞や屈曲がある場合は、内視鏡ガイドワイヤーを目的部位まで到達させる難易度がさらに高まります。

当製品は、当社が強みを持つ血管系治療製品で培った臨床現場の医師の要望を具現化する対応力を活用し、優れた回転追従性（トルク技術）を付与することなどにより、細く枝分かれした管を選択し、目的部位まで安全に到達するために必要な、医師の高度な手技と繊細な指先の感覚を忠実に反映できる高度な操作性を有していることが特長です。

当社は、「患部治療領域の拡大」を中長期戦略のひとつに掲げておりますが、当製品は当社にとって、胆管・膵管治療分野における初めてのガイドワイヤー製品となります。

今後とも、当社は幅広い治療分野における低侵襲治療製品の普及を通じて、患者様のQOL向上に努めてまいります。

2. 製品の概要

販売名： 内視鏡ガイドワイヤー
認証番号： 228ADBZX00018000
販売元： 株式会社メディコスヒラタ
製造販売元： 朝日インテック株式会社

※「M-Through™」は朝日インテック株式会社の日本国及びその他の国における商標又は登録商標です。

3. 株式会社メディコスヒラタの概要

社名： 株式会社メディコスヒラタ
代表者： 代表取締役社長 平田全孝
創業： 大正7年（1918年）1月
主な事業内容： 医療用機器の輸入、製造及び販売
大阪本社： 大阪府大阪市西区江戸堀 3-4-3
東京本社： 東京都文京区西片 1-17-10
URL： <http://www.medicos-hirata.co.jp/>

4. 業績に与える影響

本件に関わる2017年6月期業績への影響は軽微ですが、中長期的には、業績の向上に資するものと見込んでおります。

なお、リリースに掲載されている将来に関わる一切の記述内容は、発表日時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績等が記載されているものと異なる可能性があります。そのため、実際の結果等は本プレスリリースに記述された内容から大きく乖離する可能性があることをご承知おきください。

以上